



## 【蹴球部】



昨今のコロナ禍において、本年度の公式戦は中止、あるいは延期を余儀なくされました。公式戦のなかでもメインであるリーグ戦は4月から総当たり2回戦で勝ち点を争うレギュレーションでしたが、緊急事態宣言による各大学の活動停止などから、大幅に予定を遅らせ9月第1週から変則的なレギュレーションで開幕となりました。

大学蹴球部の活動は6月後半に漸く活動再開したものの、1か月後またもや東京都感染状況警戒レベル引き上げにより、

7月27日から活動停止となりました。

各体育会もこの時期の活動停止は公式戦の勝敗に大きく影響することは必至であることから、大学と体育会本部を中心とした各部とで部活動再開に向けて嘆願した結果、大学より「公式戦に入るうえで練習不足による怪我がないように準備期間を要するには早期の活動再開が必要」という学長のご英断もあり、8月29日に活動再開の許可をいただき、公式戦にむけガイドラインを遵守することで、蹴球部では9月7日開幕のリーグ戦に何とか間に合うこととなりました。

なお、活動停止期間は公式戦であるリーグ戦が9月初旬に控えていることもあり、活動再開になるまで自己の責任においてトレーニングをすることで体力維持を図ってきました。

ただ、例年の練習量、およびトレーニングゲームはこなしておらず、ボールを使った練習、およびチームプレーの練習を短期間で仕上げることは困難でベストパフォーマンスには程遠かったものの、初戦であるVS学芸大学は昨年まで上のカテゴリーに所属していた格上の相手でしたが1-1の引き分けという結果で、まずまずのスタートを切ることができました。



初戦以降計8試合、合計9試合戦ったところで、10チーム中9位と下位に甘んじ、後半戦は下位リーグでの戦いとなりました。（総当たり1回戦9試合終了後、順位を上位、下位に分け、1位～5位を上位リーグ6位～10位を下位リーグとし、総当たり2回戦は各々4試合総当たりで順位を決めるというもの）

残念ながら、総当たり9試合を終了した時点で成蹊大学は9位となり関東リーグ復活の夢は絶たれましたが、下位リーグを含めた本年度の最終順位が7位となり来年度の東京都トーナメント参加資格を取得することができ、現在新チームのもと、練習に励んでいます。

また、引き続きコロナ禍における万全な感染対策は徹底して取り組んでおり、学生は自己を管理する責任感をより一層強くしています。

OBと致しましては、まずは「コロナ禍における万全な感染対策の励行」、を徹底し来季こそ目標である関東リーグでの復活を祈念するとともに、兎に角コロナ禍による影響が少しでも早く収束することを願い、生活が通常に戻ることを期待してやみません。

蹴球部OB会 強化委員長 宮下尚麿氏（85年卒） 寄稿

---

## 【ラグビーフットボール部】

11月15日（日）成蹊けやきグラウンドで行われました、関東大学ラグビー対抗戦、成蹊大学対成城大学戦は83対8で成蹊が勝利し、開幕から2連勝となりました。

（前半38対8、後半45対0）



ラグビーフットボール部OB会 強化委員長 八木忠則氏（76年卒）寄稿

---

## 【軟式庭球部】



関東学生ソフトテニス連盟加入の軟式庭球部は、新型コロナウイルス禍による課外活動の禁止の通達により、通常練習・春季リーグ戦・合宿・甲南大学定期戦等の中止が続きました。又例年OBによる教室内での研修会「部目標の設定と確認・部員各人の年次目標設定とPDCA・5W1Hの修得並びにグループワーク」も中止となりました。

10月に入り連盟より秋リーグ開催の通知が入り、目標に向けて部活を再開しました。但し試合会場は分散となり男子7部は東京外語大学で、女子は従来の千葉県白子町となり、さらに試合方式はダブルス7回ゲーム・シングルス7回ゲーム、無観客、会場来場者は男子13名まで、女子9名までとの制限がなされました。

OBOGの応援も不可能で、練習不足での対戦は如何とも成しがたくし男子5位女子3位の結果となりました。又12月6日に予定していましたOB会は再度部活動の中止通達により中止となりました。

コロナ禍の厳しい環境下ですが現役は明確な目標を設定し充実した4年間を過ごしてほしいと願っています。OB会としてもZOOMで応援する等できる限りの支援を行っていきたくと考えています。

尚7月開催予定のOB会決算役員会は急遽書面決議による開催に変更し、現役幹部を交えての成蹊倶楽部での懇親会も中止となりました。

軟式庭球部OB会（軟球会）会長 早川鎮氏（67年卒）寄稿

---

## 【アメリカンフットボール部】

昨年度はブロック優勝を成し遂げるなどチーム力向上の手応えを掴んだシーズンとなり、次シーズンへの期待が膨らみました。しかしシーズンインした矢先に新型コロナウイルスの感染が拡大し、四大戦も含めて春の試合は全て中止、夏合宿も中止になるなど、本番の秋のリーグ戦への準備がなかなか進められない事態となりましたが、例年より約2カ月遅れて、10月31日にリーグ戦初戦を迎えることとなりました。

例年は8チームが総当たりのリーグ戦を行います、今シーズンは4チームずつのグループに分け、そこで総当たりを行い、グループの同順位で順位決定戦を行うスケジュールとなりました。しかしコロナによって棄権したチームの救済策として入替戦は実施されず、昇降格はしないということになりました。昇格を目指し、その機運が高まっていた我が校にとっては衝撃的なことであり、目標を失うこととなってしまいました。しかし学生、コーチ陣はブロック優勝に目標を定め、準備を進めました。初戦の防衛、2戦目の帝京を撃破し、3戦目の学習院には足元をすくわれる形となりましたが、グループ1位となり、筑波との1位決定戦に臨むこととなりました。リーグ戦は無観客で行われましたが、最終戦は保護者、OBOGなど



109名が観戦し、声を出しての応援はできませんでしたが、選手達にパワーを送ることができたのか40-7で快勝という結果になりました。対面での授業が行われない中でも活動を認めていただくなど、学校側のご協力なしにはこの結果は得られなかったものとOBOGとしても感謝の念に堪えません。また目標を失いかけながらも、頑張ってくれた現役の選手、スタッフをOBOGとして誇りに思います。来シーズンは通常の形に戻り、是非とも昇格を成し遂げて欲しいと願っております。

尚、OB2名を関東審判部に派遣していますが、1994年卒の松本龍太さんが12月15日に行われた社会人Xリーグ日本一決定戦“JAPAN X BOWL”の審判団に選出されるという栄誉を受けたことをご報告させていただきます。

また関東大学アメリカンフットボール連盟より[2部Aブロック順位決定戦]のプレイヤーオブザウィークに、成蹊大学RB#43 草野 公平(四年)が選出されました。ランで2つ、パスで1つのTDを挙げ快勝を演出。チームを1位に導くと同時に同期の最後の晴れ舞台をお膳立てしました。

アメリカンフットボール部OB会 赤石益輝氏(85年卒) 寄贈

## 【ヨット部】

蹊帆クラブ(体育会ヨット部OB会)Zoomで理事会開催

今年度は新型コロナウイルスの影響で4月の櫂祭で行う総会を始めとして、全てのOBレースやゴルフコンペなどの行事が中止、延期となりました。

現役も秋の個選とインカレ関東予選の2レースのみで活動を終了し、現役の代替わりの報告と激励を兼ねて、11月15日(日)15:00~17:00にZoomを使つてのWEB理事会を開催しました。



参加者は貞弘会長(昭45年卒)を始め理事18名、若手OB2名と現役6名の26名となりました。

前半は事務局から、2020年度の予算進捗状況やOB会費の納入状況、故井上様(昭29年卒)の奥様からの新艇購入資金として頂いた寄付、創部70周年記念行事を中止することなどの報告がありました。

後半は現役報告で、渡辺主将からは今年度の活動報告があり、7月から活動再開できたが、合宿禁止で通いで練習、9月、10月の2レースのみの参加となり悔いの残る結果となったが、ヨットに乗れない期間があったおかげで、ヨットにのる楽しさを改めて感じることができ、卒業しても現役の活動応援に出来るだけ参加したいとの報告がありました。

新主将の村上君からは2020年後期から2021年の活動計画と部員紹介があり、現在部員はプレーヤー3名、マネージャー2名の5名、来年度は新入部員を3名以上獲得しスキッパーを3名体制にする為にもOBOGの活動サポートと金銭面での支援のお願いがあった。

最後は現役部員全員が一人ずつ画面で顔を見せ抱負を語り、終了しました。

今回初めてのWEB会議となりましたが、参加者の顔を見ながら同時に情報共有でき、転勤で地方に赴任した理事も参加できたことは、新型コロナ禍での新しい会議のやり方かなと実感しました。

ヨット部OB会（蹊帆クラブ）事務局 小町敏則氏（71年卒） 寄稿

#### 【OB会長会事務局】



本年の活動を顧みるとコロナ感染問題の広がりから会合が持てず、メールによる連絡・報告であったが、これからの我々のOB会長会も会議形態（連絡媒体）を変えていく必要もありそうである。その中の一つの試みがZoomを活用したミーティングである。OB会長世話人の間で12月6日17:00～18:30トライしてみた。結果はほぼ良好であり運用面の検討は必要であるが来年度には活用していきたい。

各クラブの代表窓口の方には、事務局よりクラブでどの程度利用可能か問い合わせすることになるのでご協力をお願いします。

本年も「SMAnews」をご愛読いただきありがとうございます。来年も宜しくご支援ください。

#### Information 重要なお知らせ

OBOG会長会の皆さまが新型コロナに負けず年末年始をお過ごしになれるよう、また各クラブの学生の活動が本年以上に充実できることを祈念しております。  
良いお年をお迎えください。

編集責任者 木村明彦